

倫理審査番号	T2026-002
--------	-----------

研究内容の説明文

説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	血小板製剤の保管期間延長が輸血後の血小板増加に与える影響 (同上)
研究期間	研究実施許可日から 2030 年 3 月 31 日
研究機関名	岩手医科大学医学部臨床検査医学・感染症学講座
研究責任者職氏名	准教授・藤原 亨

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明	
1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等	日本赤十字社では2025年7月30日より、細菌スクリーニングを導入し、有効期間が採血後4日間から6日間へ延長した新規血小板製剤である照射濃厚血小板-LRBS「日赤」(Ir-PC-LRBS)が販売されることとなりました。 本邦において、有効期間を延長した血小板製剤の有効性を評価した報告はないことから、有効期間が異なる血小板製剤の輸血後における補正血小板増加数(corrected count increment: CCI)を比較し、血小板製剤の有効期間延長が輸血効果に与える影響の検討を行います。
2 使用する献血者の試料と情報の項目	献血者の試料の種類: なし 献血者の情報: 血小板製剤中の血小板数及び血小板製剤の容量
3 共同研究機関及びその研究責任者氏名	《献血血液等を使用する共同研究機関》該当なし 《献血血液等を使用しない共同研究機関》該当なし
4 献血血液等を利用又は提供を開始する予定日	2026 年10月 1 日
5 方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》	献血血液等のヒト遺伝子解析: ☒行いません。 ☐行います。 《研究方法》 ・対象: 2024 年および 2025 年の 7 月 30 日～12 月 31 日に岩手医科大学附属病院血液腫瘍内科に入院し、血小板輸血を受けた患者に対して、輸血された血小板製剤を献血していただいた献血者。 ・方法: 岩手医科大学附属病院血液腫瘍内科において、血小板輸血を受けた患者の電子カルテより調査項目を抽出後、解析を行い、血小板製剤の有効期間延長が輸血効果に与える影響を評価します。抽出対象は研究期間中に輸血された患者のうち、適格基準を満たし除外基準に該当しない患者とします。 ・主要評価項目: 輸血翌朝の CCI

・副次評価項目：輸血後 24-48 時間の CCI、副反応、出血イベント、輸血間隔
日本赤十字社からは上記製剤特性に係る情報（上記 2）を岩手医科大学医学部臨床検査医学・感染症学講座へ提供します。

6 研究の対象とされることへの拒否について

本研究への情報等の研究使用について拒否される場合は、2026年9月末までにご連絡ください。

7 上記6を受け付ける方法

下記の連絡先に本研究への情報使用を拒否する旨及び採血年、献血者コード（献血カードの氏名の上の10桁の数字）について、ご連絡をお願いいたします。

所属	日本赤十字社 血液事業本部 技術部 製造管理課
担当者	佐藤えりか
電話	03-3437-7204
Mail	e-sato@jrc.or.jp